

公益財団法人 8020 推進財団

令和2年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：

佐世保市におけるオーラルフレイル啓発に向けての研修会
専門職に向けて

2. 申請者名：

一般社団法人佐世保市歯科医師会 山田 雅弘

3. 実施組織：

口から食べる楽しみを支援する協議会（代表：佐世保市歯科医師会会長）

4. 事業の概要：

昨年度行った本事業においてオーラルフレイルの認知度が一般市民および専門職でも低いことが明らかになった。そこで本年度は専門職に向けてオーラルフレイルの周知活動を行った。専門職の方にオーラルフレイルの啓発を行うことで、臨床の現場でそれぞれの職種の方が市民に対してオーラルフレイル予防に向けての行動をとってもらい、健康寿命延伸に寄与することを期待する。今回は口腔管理を行う専門職向けの研修会を行い、オーラルフレイルの正しい知識の定着を図った。またアンケートによるオーラルフレイルの認知度を調査した。

5. 事業の内容：

昨年度行った本事業でのアンケート調査において、専門職のオーラルフレイルの認知度は91.7%(55/60)と高いものの、オーラルフレイルの理解度は78.3%(47/60)と認知と理解に差が生じていた。またオーラルフレイルに関する研修会へ参加意欲は95%(57/60)と非常に高く、オーラルフレイルへの関心の高さが認められた。そこで今年度は特に専門職に向けて研修会を行い、周知活動を行った。

- I. 口腔管理を行う専門職向けにオーラルフレイルの研修会を行い、参加者にオーラルフレイルに関するアンケート調査を行う。
- II. 昨年度実施した専門職へのオーラルフレイルの認知度調査との変化を考察する。
- III. オーラルフレイルに関してのチラシを作成し、オーラルフレイルの啓発を行う。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

オーラルフレイルの認知度は非常に高いが、実際の臨床現場でのオーラルフレイルの説明や指導はさほど行われていないことが明らかになった。また、専門職と歯科との連携に課題があり、そのことがオーラルフレイル啓発の障害になっており、今後も研修会などを通じてオーラルフレイルの知識の習得と連携の強化を図っていく必要があると思われる。

また今回作成したオーラルフレイルのチラシを有効活用することで一般市民へのオーラルフレイルの啓発に一定の成果を上げることができると推測できた。

今回専門職向けのオーラルフレイル研修会を行い、オーラルフレイルへの理解をより深くすることができた。臨床の現場でそれぞれの専門職の方が市民に対してオーラルフレイル予防に向けての行動をとってもらうことで、より市民へのオーラルフレイルの認知度の向上に寄与することが期待できる。オーラルフレイルの認知度を上げるために引き続き市民への啓蒙活動を行う重要性和多職種と協力してオーラルフレイルを予防していく必要がある。